議会だより いながわ

第162号
平成29年(2017年)2月1日
発行：兵庫県猪名川町議会



「わぁ～ひさしぶり」

白金小学校トイレ大規模改修へ 2
「特定健診・がん検診」県下トップクラスの受診率 4
各常任委員会の報告 7
一般質問 ９人が町の考えを聞く 9
復活!! 追うレンジャー　いながわ追跡調査隊 15

白金小学校トイレ大規模改修へ

第384回
12月定例会

第384回定例会を12月９日から12月20日までの12日間開会。人事案件２件、平成28年度の補正予算４件、条例制定１件、条例改正７件、指定管理者の指定２件、請負契約１件を審議。議案すべて原案の通り同意・可決した。また27年度一般会計決算の認定並びに５特別会計の決算を認定した。

各会計の補正額

会　計		補正額	補正後の総額
一般会計		2億7,003万円増額	102億8,291万円
特別会計	国民健康保険	8,497万円増額	39億441万円
	介護保険	2,098万円増額	21億9,483万円
	後期高齢者医療保険	1,687万円増額	6億7,237万円

（金額は、万単位で四捨五入）

人事案件

人事案件2件に同意

教育委員会委員の選任
任期満了に伴い、福西堅固氏の選任に同意。

公正委員会委員の選任
任期満了に伴い、西中毅氏の選任に同意。

補正予算

一般会計補正予算
歳入歳出予算総額にそれぞれ2億7千2万7千円を追加し総額を102億8千290万8千円とする。

歳入の主なものは、白金小学校トイレ大規模改修の学校教育施設等整備事業債（3千900万円）を予算化。

歳出の主なものは、高齢非課税者に一人当たり1万5千円を支給する臨時福祉給付金支給事業（8千34万4千円）、白金小学校トイレ大規模改修工事費など施設整備費（1億193万8千円）、原広根線新設改良事業で残土受け入れ先の変更などで工事費の増額（4千260万円）

国民健康保険特別会計補正予算
歳入歳出予算にそれぞれ8千496万9千円を追加し、総額39億441万4千円とする。

介護保険特別会計補正予算
歳入歳出予算にそれぞれ2千97万5千円を追加し、21億9千483万3千円とする。

後期高齢者医療保険特別会計補正予算
歳入歳出予算にそれぞれ1千687万円を追加し総額6億7千237万1千円とする。

条例制定

企業立地促進条例の制定
産業拠点地区を活用する事業者に対し支援を行うことにより、優良な事業者を誘致し、新たな就業機会の場の創出、定住促進をはじめとする活力あるまちづくりを推進する。

条例改正

職員の給与に関する条例の一部改正
8月8日の人事院勧告に準じ、給料表等の見直しなどを行う。

特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
8月8日の人事院勧告により職員の給与に関する条例の一部改正が行われることに準じ、期末手当の支給月数の見直しを行う。

町税条例の一部改正

国民健康保険税条例の一部改正
平成28年度税制改正に伴い、外国人等の国際運輸業に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律が改正されたことによる所要の整備が必要なため。

地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
産業拠点地区地区計画を変更し、地区整備計画を新たに策定したことに伴い、本条例の適用区域及び同区域における建築物に関する制限の条項に当該計画の内容を加えるため。

奨学金条例の一部改正
奨学金について、より利用しやすくするとともに、定住促進への寄与及び通学費に対しての貸付金の新設をするため。

指定管理者の指定

社会福祉会館の指定管理者の指定
社会福祉会館条例の規定に基づき、施設の管理を指定管理者に行わせるため、公の施設における指定管理者の指定の手続き等に関する条例により、選定された「町シルバー人材センター」を指定管理者に指定。

総合福祉センターの指定管理者の指定
総合福祉センター条例に基づき、施設の管理を指定管理者に行わせるため、公の施設における指定管理者の指定の手続き等に関する条例により、選定された「町社会福祉協議会」を指定管理者に指定。

特別委員会の設置

いながわ創生対策特別委員会の設置
道の駅いながわ機能拡大プロジェクト及び産業拠点地区プロジェクトの調査・研究のため特別委員会を設置。

請負契約
役場本庁舎空調設備改修工事（第1期）請負契約の締結
契約の方法　制限付き一般競争入札
契約金額　5千661万4千680円
契約先　㈱スイカン



トイレ改修工事間近の白金小学校

「特定健診・がん検診」県下トップクラスの受診率

平成27年度各会計（水道事業会計・下水道事業会計を除く。）決算は、各常任委員会で延べ4日間にわたり審査・認定した。

主な質疑

一般会計

総務文教常任委員会

行財政

Q 町民税、法人税、固定資産税において不納欠損が32件あるが、そこに至るまでの経緯は。

A 不納欠損は競売・破産・死亡というのが大きな要因のため、死亡後は相続調査を行い、相続人がいない場合は執行停止を行い、調査後に不納欠損処分している。競売・破産の場合や、第2号生活保護になると不納欠損の対象となる。

Q 他市町へのふるさと納税による、町民税への影響は。

A 137人が約640万円の寄付を他市町にされており、253万円が住民税減税分となる。

Q 財政力指数が年々下降し、税収が減っているが、指数の見方と、この指数を上げるための考え方は。

A 財政力指数は0・607で、自主財源をどれだけ自分でまかなえられるかといった数字で、1に近くなるほど財政的には強みがある。本町は若干その部分で弱さがあるが、地方交付税などで最終的に必要額の交付を受けている。自主財源の確保、歳出抑制に努め、バランスをとりながら健全財政維持に努める。

情報公開

Q 平成27年度の情報公開請求の件数は。請求内容はどのようなものが多かったか。また、請求者には結果報告をしているか。

A 請求は32件で町長部局に対するものが28件、議会に対するものが3件、教育委員会に対するものが1件。主な内容は火災が起きた場合の罹災事故内容に関すること、町税の不納欠損や還付加算金などの税に関すること、入札の応札金額などである。請求内容に応じて、全部公開したものが11件、部分公開したものが16件であり、公開出来るものは積極的に公開している。

くらし

Q 道の駅に設置した電気自動車用急速充電器の運転状況は。

A 平成28年1月7日から供用開始し、当初利用回数は少なかったが、町広報・ホームページ・神戸新聞に記事が掲載され、利用回数は伸びている。

農政

Q シカの緊急捕獲拡大事業でどのような具体的対策を取ってきたのか。

A この事業は県が実施しており、シカを捕獲した場合1頭あたり5千円の報償金をハンターに支払うという仕組みである。本町における狩猟資格を持った実施隊員数は約40名。シカ肉のジビエ料理への活用についても調査中である。

教育

Q いじめ問題の解決状況は。

A 解決については、初期対応を誤れば非常に長引いてしまうため、教育委員会として迅速かつ適切な対応を心がけるよう各学校へ指導している。

健康

Q 特定健診、がん検診に関して、受診率はどう変化したか。

A 平成27年度の特定健診受診率は、43・2％で前年度より向上している。また、がん検診の受診率は、胃がん検診・大腸がん検診・子宮頸がん検診・乳がん検診については、県下1位の受診率。

生活建設常任委員会

消防

Q 消防アドバイザーによる小学校高学年への救命講習会の状況は。

A 小学生の救命講習は、大島・楊津の児童を対象に、延べ39名が参加。平成27年度の救命講習は、救急アドバイザーとともに実施し、全体で73回、1656人の受講者となっている。

福祉

Q 敬老会出席者への記念品で、出席しても記念品がなかったとの声を聞いたが今後の対応は。

A 敬老会の参加者は740人で、昨年の570人に比べ170人増加した。記念品を700個準備していたが、それを上回ったため、配布できなかった方が生じた。来年度以降は来場いただいた方には配布したい。

子育て

Q 児童虐待の早期発見・対応のための虐待防止訪問回数が、平成26年度は94件、27年度は101件と大幅に増加している。情報の入手方法、訪問者などその仕組みは。

A 虐待の通告件数は増加傾向にあり、主な要因は全国共通ダイヤル189（いちはやく）の浸透や近隣、学校からの通報もある。通報があった場合は、家庭児童相談員がその家庭を訪問するなど、子どもの身体状況を把握し、次の支援につなげている。家庭児童相談員については、保護者・養育者に拒否されることがないよう訪問を行っている。

建設

Q 交通安全施設で、PTAや自治会からの要望でカーブミラーなどを設置されているが、どの地区にどのようなものが設置されたか。また、区画線の点検は。

A カーブミラーは、町道阿古谷民田線、柏原15号線、ポストコーンの設置は、伏見台1・2号線、清水仁頂寺線に、また、路肩に夜間の反射鋲を差組紫合線のカーブの一部に設置した。区画線は若葉など町内で約5千メートルに設置したが、うすくなっているところは多く、今後も要望などを精査し、点検する中で優先順位を決め実施する。

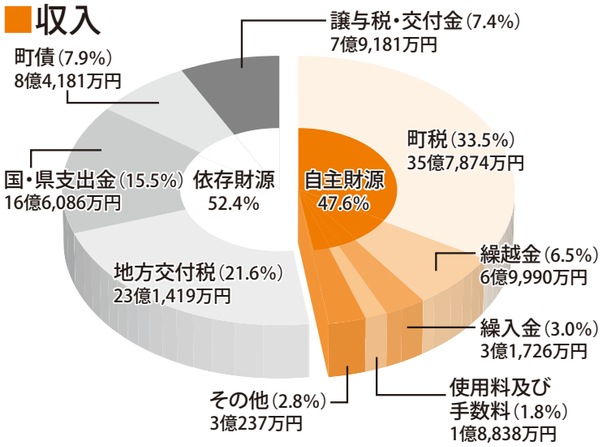
■ 平成27年度 各会計別決算状況 ■

会計区分		収　入	支　出	収支差引残額
一般会計		106億9,532万円	100億2,012万円	6億7,520万円
特別会計	国民健康保険	38億3,350万円	36億8,788万円	1億4,562万円
	介護保険	20億1,852万円	18億9,425万円	1億2,427万円
	後期高齢	6億2,986万円	6億1,805万円	1,181万円
	農業共済	2,203万円	1,080万円	1,123万円
	奨学金	721万円	540万円	181万円
合　計		172億644万円	162億3,650万円	9億6,994万円

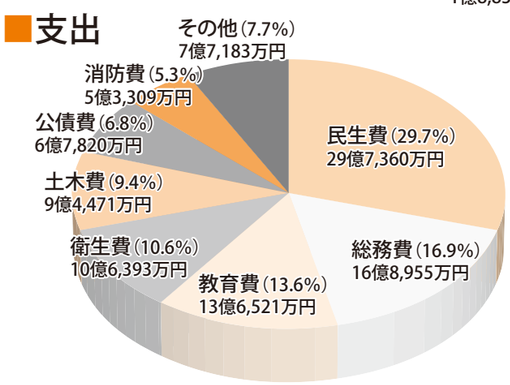
※各会計ごとの決算額を表示単位未満で端数処理をしているため、実際の決算額と一致しない場合があります。

■ 一般会計（収入・支出）の内訳 ■

■収入



■支出



主な質疑

特別会計

総務文教常任委員会

農業共済

Q 農業について高齢化が進んでいるが、今後の農業や農業者のあり方、見通しはどうか。

A 本町だけでなく、高齢化、担い手不足といった、農業を取り巻く状況が厳しい。このような中、平成27年より国において、農地中間管理機構が創設され、農地の貸し出し、借り入れが出来る制度も新たにできた。農業については、生産だけでなく、景観形成や生物多様性といった多面的な機能を持つことから、積極的な農業展開に取り組みたい。

Q 農作物に被害が発生した場合、農業共済制度によりどのくらい救済されるのか。

A 例えば水稲については3割以上、1筆評価方式で実施しており、4割の被害であれば、3割以上の部分のすき間である1割相当額の減収に対しての補償となる。

生活建設常任委員会

国民健康保険

Q 国民健康保険の広域化について、どういった取り組みがあったのか。

A 社会保障改革プログラム法が成立し、平成27年5月27日に国民健康保険法の改正がされた。これに伴い、県と市町が保険者となり運営する形となる。今まで行っていた医療の給付や賦課、徴収の保健事業は、引き続き市町で行うが、財政運営は県で行う形となる。詳細については、審議中であり、一定の方向が決まれば報告する。

介護保険

Q 介護度の全体の傾向は。また、介護認定に対する不服申し立ての状況は。

A 要介護度の認定率は減少傾向にある。平成27年度全体1372人の内、要支援1は321人、要支援2は159人、要介護1が284人で要支援1から要介護1までの構成率は55・7%で、比較的軽度の認定者が過半を占めている。また、不服申立ては無かった。

（後期高齢者特別会計については質疑なし。いずれも全会一致で認定）

お知らせ

3月定例会の日程（予定）

〈本会議の日程〉

第1日　2月22日(水)議案審議など
第2日　3月1日(水)議案審議、代表質問
第3日　3月3日(金)一般質問
第4日　3月24日(金)議案審議など

〈常任委員会の日程〉

総務文教常任委員会
2月23日(木)
3月6日(月)
3月7日(火)
3月8日(水)

生活建設常任委員会
2月27日(月)
3月9日(木)
3月13日(月)
3月14日(火)

※いずれも午前10時から
※議事の都合により変更する場合があります。



みなさんも議会・委員会を傍聴しませんか。

町議会では、身近な問題を議論しています。まちづくりを一緒に考えてみませんか。

傍聴の手続きは簡単で当日、議会事務局で傍聴受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。

（議場20人、委員会室10人まで）

総務文教

奨学金条例より使いやすく一部改正

12月13日、委員会を開会。付託3議案を審査。主な質疑は次のとおり。

一般会計補正予算

Q ふれあいバスの購入が町ではなく、阪急バスで代替購入となったが、費用負担の形態は。

A 購入代金は、通常の運行委託料に来年度から5年間上乗せして支払う。

Q 今後、ふれあいバスを町で所有するのか、委託にするのか。これまでの経緯と今後の考え方は。

A 今回、共生の地域づくり補助事業が不採択となったことにより、阪急バスとの協議の中で、町より阪急バスによる購入がより安価であると判断した。今後、基本的には町所有と考えているが、財源見合いの中で町が有利になるよう考えていく。

Q ごみネット容器新規購入について、取り替えの基準はどうか。

A 一昨年にアンケートを実施し、交換が必要なものは昨年、今年の2年間ですべて交換した。今回の補正計上は、当初の申し出や計画以外の使用不可能な容器を順次交換するための経費である。

Q 白金小学校のトイレ改修について、中断したと聞いていたが、今回の予算で全面改修するのか。

A 平成25年に大規模改修の実施計画を行ったが、国庫補助が措置されず今に至った。今年度の国の補正予算において前倒しで補助金措置がなされたため、この機に予算化し全面改修する。

Q 木喰仏の立木子安観音の屋根部分について、改修後も同じような屋根になるのか。

A 屋根については葺き替え、外壁は木板の張り替え、土壁は塗り替えを考えている。

猪名川町奨学金条例の一部改正について

Q 選考委員会がなくなったが、貸付希望者が多数の場合の扱いは。

A 予算の範囲内、所得基準内であれば対象としたい。予算以上の申し込みがあった場合は、補正予算も念頭に入れて考えていきたい。

Q 条例改正の周知は。

A 中学生については3年生を対象に、高校生については各学校に情報提供・説明し、多くの方に利用されるよう工夫する。

Q 休学、退学に伴う貸付金の返還で、「直ちに」の考え方と、返済期間の考え方は。

A 当該条例で「直ちに返還させることができる」としているが、その時の状況を確認し、返還猶予も検討する。また、前貸しの部分については、返済計画を立て、計画的な返済を考えている。

（いずれも全会一致で可決。）



木喰仏　立木子安観音

先進地視察レポート

総務文教常任委員会

交通施策について考える

11月21日　秋田県秋田市

町内のバス路線廃止などに伴う代替交通やデマンド式乗合タクシーについて、本町同様、山間部の多い秋田市の取り組みを視察。抱える課題も似ており、参考とすべき点が多い。



秋田県秋田市

子どもの学力向上への取り組みを学ぶ

11月22日　秋田県東成瀬村

人口2800人の村で、全国トップクラスの学力を誇る東成瀬村の教育への取り組みを視察。規模的には六瀬中学校とほぼ同じで、本町の子どもたちを一番に考えた時、どうあるべきかを学んだ。



秋田県東成瀬村

生活建設

企業立地促進条例の制定

12月14日に委員会を開会。付託9議案を審査。主な質疑は次のとおり。

一般会計補正予算

Q 臨時福祉給付金支給事業費として、対象の4469名分の名簿を使用されると説明があったが個人情報などの管理は。

A 個人情報を遵守することは当然であり、そのように指導している。

Q 道路維持補修費で2千万円、公園緑地管理費500万円と入札残が多いが、業務内容が業者により異なるのか。

A 道路と公園を合わせ、全9件の契約があり、業者は異なるが、町担当職員と業者間で打ち合わせをし、進めている。業者によって大差はない。

Q 入札のしくみとして一定の内容を補償するために、最低の金額などを定めているのか。

A 道路、公園とも委託業務で取り組んでおり、委託料という性質から、最低価格制度は現在のところは設けていない。

Q 原広根線道路新設改良費で増額されており、残土処分をネクスコから他の場所に振り替えるとあるが、詳細は。

A 道路工事などにより、発生残土については、事業地間で、盛り土などの流用できない場合、処分場で適性に処分するとなっている。ネクスコ事業用地での受け入れが困難となり、7千㎥程度を処分場での処分費と運搬経費などを増額補正をした。

国民健康保険特別会計補正予算

Q 基金積立金について、国民健康保険が県に移行した場合の取り扱いは、基金は本町に残るのか。

A 基金は、それぞれの市町の取り組み、市町の裁量によって、運用される。本町に残る。

企業立地促進条例の制定について

Q 固定資産税、原水負担金、下水道受益者負担金を免除するとなっているが、具体の金額は。

A 固定資産税の課税免除、原水負担金、受益者負担金の免除額は、全体で約3億6千万円程度と考えている。地区外のインフラ整備で約1億6千万円と考えている。

Q 原水負担金、下水道受益者負担金は、公平の原則と聞いているが、補助金や助成金方式を取らなかった理由は。また、補助金、地方債の活用と財源の手当ては。

A 事業支援は町単独の一般財源と考えている。補助や起債は考えてない。インフラ整備は、基本的に地区内は、事業者負担で、町の支援は事業区域外のインフラ整備である。

（いずれも全会一致で可決）

11月28日に委員会を開会。継続調査事項、産業拠点地区における、プロロジスパークを視察した。



産業拠点地区
完成イメージ

先進地視察レポート

生活建設常任委員会

女性消防団員採用の経緯・組織編成

11月16日　京都府綾部市
11月17日　福井県大野市

京都府の女性分団員の活性化について、11月16日京都府綾部市を視察

男性だけの消防団に女性の視点を取り入れることで消防団員の活性化をはかる。愛称「シルキーファイヤー」と名づけられた。



京都府綾部市

福井県女性分団員の特色 11月17日福井県大野市を視察

「結の故郷女性分団」先人から受け継いできた。お互い助け合いを大切にする心。一〇〇名女性が集まり、スタートした。



福井県大野市

第384回 定例会 一般質問

町の考えを問う

質問順	質問者氏名	質　問　事　項
1	福井　澄榮	●消防、消防団へ女性の登用を ●猪名川町の町おこしに漁業の推進を
2	加藤　郁子	●救急体制について ●お薬手帳必要性を広報することについて ●「子育て世代包括支援センター」について
3	池上　哲男	●ごみ当番を廃止し、町の業務で行うべきでは ●高齢者の交通費助成について
4	山田　京子	●超高齢社会に対する施策・対策について
5	阪本ひろ子	●災害に強い町づくりについて ●放課後等デイサービスの設立を
6	丸山　純	●いじめ解消などについて ●ICT活用について今後の見通し
7	下坊　辰雄	●信号機の設置と大型通行禁止について
8	下神實千代	●中学生の姉妹都市派遣事業について ●成年後見制度の研修と後見人養成講座について ●第２庁舎への渡り通路に明かりと手すりの設置を
9	岡本　信司	●統一的な基準による地方公会計制度について ●文化財の効果的な発信・活用について

（詳細は9～13ページをご覧ください）

Q 本町の町おこしに漁業を

A 養殖業についての動向を注視していく。



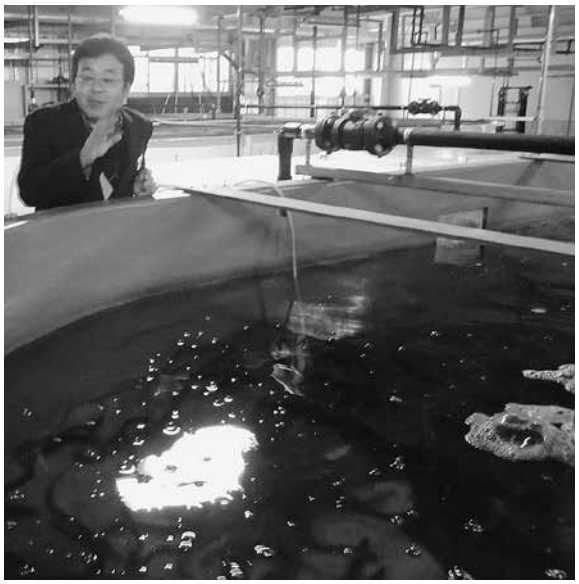
福井　澄榮 議員

かつての「猪名川」はウナギが遡上しアマゴ、アユなどが棲息する豊かな川だったが、下水道が完備しても以前のような豊かな川には戻っていない。「猪名川」が再びウナギ釣りの可能な漁場となる環境を取り戻したいと、平成25年多田や猪名川漁業協同組合ではウナギの稚魚を放流した。「好適環境水」を使った漁業を導入することが、本町の町おこしにつながると確信するが。

地域振興部長　「好適環境水」を用いた養殖業について、その技術発展と実用化について農林水産省の動向を注視していく。

綾部市、大野市では女性消防吏員を採用し、消防団にも女性が入団し消防防災訓練、火災予防訓練、高齢者住宅防災訪問など、女性の特性を活かして地域住民への災害予防広報の推進を図っている。本町も入団者が年々減少しているので、女性の登用を実施するよう提案する。

消防長　分団に1名、団本部付けに4名の女性団員がいる。今後も女性の登用を検討していく。



「好適環境水」を使用したウナギの水槽（岡山理科大学）

Q お薬手帳必要性の広報に町の考えは。

A 様々な機会をとらえ周知・啓発する。



加藤　郁子 議員

お薬手帳の必要性を医師会や薬剤師会に協力を求め広報する必要があると考えるが、町の考えは。

生活部長　町広報などに掲載し、健康教育の様々な機会をとらえ周知・啓発を図っていく。

救急救命士の救命処置の範囲が拡大したが、本町での実施状況は。

消防長　心肺停止前の静脈確保実績は1件あった。

全国的に救急の不搬送が増えているが本町の状況は。

消防長　平成23年から5年間の平均は114件で出動件数の約8.6％である。

心肺停止の状態の患者を搬送する際、蘇生処置を本人や家族が望まない場合の対応は。

消防長　心肺蘇生法のみを実施しながら搬送することになっている。

子育て世代包括支援センターの整備状況は、また窓口はどこになるのか。

生活部長　保健センターと子育て支援センターを子育て世代包括支援センターと位置づけ、両センターが連携を密にして支援を実施していく体制を平成29年度から実施する。



おくすり手帳

Q ごみ当番を廃止し、町の業務とすべき。

A 今後、総合的に検討したい。



池上　哲男 議員

ごみ当番は「あと5年したら私はできなくなる。そうなれば、迷惑をかけられないので、猪名川町に住み続けられなくなる」との声が日増しに増えている。当番支援をと19・22年と質問し、有料ではあるが、代行サービスが開始された。しかし松尾台・伏見台を筆頭に急速に高齢化が進む。今後ごみ当番ができないとの声が増えていくとの認識は。容器の設置・回収は行政で行なう考えは。

地域振興部長　ごみ出しや容器の設置・回収が大きな負担になりつつある現状は認識している。地域の情況もふまえ、今後総合的に検討したい。

本町は南北に長いうえ、県道までも距離がある。阪急バスの便数も少ない。ふれあいバスは急な利用はできない。タクシーで阪急バスに乗り継ぐなど、阪急バス・能勢電車・タクシーも利用できる交通費助成の考えは。

生活部長　ふれあいバスだけでは、高齢者の多様なニーズに応えられていない。本町の実情をふまえつつ、他市町の状況を調査・検討したい。



ゴミ当番が設置する容器

Q 認知症に関する冊子や場が必要では。

A 冊子作成と相談の場の開設に取り組む。



山田　京子 議員

認知症の早期発見や受診の動機付けにもなる物忘れ診断の機器を検診時に活用するなどの取り組みが必要だと考えるが。

生活部長　より多くの方に使っていただけるよう、今後はゆうあいセンターのロビーに常設したい。

認知症に関する介護サービス・相談先などがわかる冊子や場が必要では。

生活部長　認知症状に応じ、わかりやすくまとめた冊子の作成と、健康福祉まつりなどのイベント開催時に、相談の場の開設に取り組む。

ふれあいバスのバス停に、ベンチなどの配慮があっても良いかと考えるが。

企画総務部長　ふれあいバスのバス停の多くは歩道を占用する形で設置している。ベンチは歩行者の安全面からも問題があり、設置は考えていない。

ゴミ屋敷に関する条例が必要かどうかを含めた検討会の進捗状況は。

地域振興部長　支援や対策を検討する協議会設置に向け進めている。条例制定は行わず、関係機関と連携し、適切に当事者へアプローチし事案の解消に向けて取り組みたい。



西宮市地域共生推進課発行

Q 住民の安全を守る被災者台帳の作成は。

A 本年度の整備に向けて進めている。



阪本　ひろ子 議員

災害が発生した場合、被災者の援護を総合的に実施し、住民の安心と安全を守るべく、被災者台帳を早急に作成すべきでは。

企画総務部長　発災後速やかに作成するため内容を検討し、本年度の整備に向けて進めている。

庁舎が被災しても住民に素早く対応できる、被災者支援システムの導入は。

企画総務部長　現状ではエクセルによる被災者台帳の運用を考えている。今後も効果的なシステムについて、調査・研究を進め導入の検討も考える。

災害弱者の避難方法と避難場所について、地域の福祉施設との連携が必要では。また支援が必要な人が一目でわかる工夫は。

企画総務部長　地域と共助の取り組みを関係課と連携し進める。福祉避難所は1箇所で、今後、地域の福祉施設との協定に関し調整が必要。また、災害弱者に効果の高いものを必要に応じて用意。

放課後等デイサービスの利用数と町内での設立は。

生活部長　利用者数は合計で69人。ニーズが高まることにより、民間の参入が図られるものと理解。



福祉避難所のゆうあいセンター

Q いじめ対策のグループ討論形式の見解
A 居心地の良い集団作りに有効な手段



丸山　純 議員

小学校と中学校のいじめ認知件数の現状は。

教育部長　平成26年度小学校では21件、中学校では18件、27年度小学校では23件、中学校では12件。成長過程にある児童生徒が集団で学校生活を送るうえで、いじめはどの子どもにも、どの学校でも起こり得るものと認識している。だからこそ、昨今の自殺事案が続いている状況の中で、児童生徒が発するいじめの兆候を見逃さず、いじめの未然防止に努め、不登校児童生徒数のさらなる減少に向けて取り組む。

グループ討論形式の授業方式についての本町の見解は。

教育部長　いじめ防止のための授業展開は、さまざまな手法があるが、「グループ討論」という手法は、クラスの実態に応じて行なうことによって、大きな意義があると考える。

ICT設備の導入前と後の児童・生徒の変化は。

教育部長　児童生徒の意識調査で「よく分かるようになった」が83％で、理解が高まっている。

◎ いじめの定義

『一定の関係にある子どもが行う心理的または物理的な影響を与える行為で、当該の子どもが心身の苦痛を感じているもの』

◎ 重大事態

いじめで『心身や財産に深刻な被害が生じた疑いがある』状況

国のいじめ対策防止対策協議会の提言抜粋
2016年10月24日

Q 庁舎通路の明かり対応と手すり設置は。
A 手すりは一部分について可能と考える。



下神　實千代 議員

本庁舎と第2庁舎に渡る通路は、冬が近づくと共に、夕方になると暗くなるが通路にもかかわらず照明がなく暗い状態である。また、なだらかなスロープで高齢者や足の不自由な人には何かつまる物がなければ非常に歩きにくい。天気の良い日はまだ良いが、雨が降るとタイル張りの通路は、歩行者としては不安の高い場所となる。役場が開庁している間は、町民に最善の注意を払うべき。この通路の明かり対応と手すりの設置について、どのように考えるか。



本庁舎から第2庁舎へ渡る通路

企画総務部長　手すりは緊急車両の横断通行に支障がない部分、本庁舎エレベーター横自動扉から約10ｍまでの部分に限り手すりなど設置可能と考える。照明については、当該通路を含む必要な箇所への照明などの増設に加え正面玄関や南玄関など、照明器具のある場所については、点灯の徹底、点灯時間の季節ごとの調整により来庁者の安全確保に努めたい。

・その他の質問

中学生の姉妹都市派遣事業について

文化財の効果的な発信・活用について、どのような事業を展開しているのか。

教育部長　講座・講演会や展示・見学会などを催し、町内外の住民に文化財に触れる機会を提供している。

定期的な文化財の公開に取組むべきではないか。広根遺跡の埋蔵品の展示や遺跡説明板の設置は、どうしていく計画か。

Q 文化財行政の基本的な考えは。
A 管理から活用へとシフトしている。



岡本　信司 議員

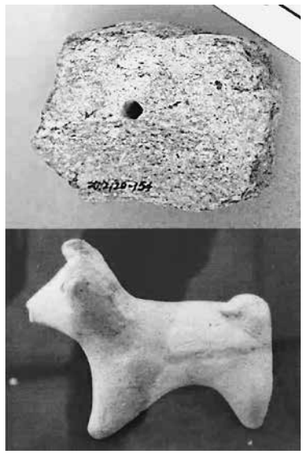
教育部長　定期的な文化財の公開は、文化財をより深く知ってもらい後世に残すためにも大切であり検討課題にしたい。遺跡説明板の設置は、地域の理解協力が不可欠であり、今後地域と協議していく中で、結論を出したい。

文化財の地域振興などへの活用のため、悠久の館に物販的な機能整備を求めるが、町の考えは。

教育部長　今後、魅力的な商品の活用から製作販売まで、協力してもらえる団体や事業所の申し出があれば、活用を考えていきたい。

〈その他の質問〉

・統一的基準による地方公会計制度について



広根遺跡出土の温石（カイロ）と土人形（織豊時代）

Q 原広根線上野地内に信号機の設置を。
A 新たに2箇所に設置の方針が決定。



下坊　辰雄 議員

町道差組紫合線と交わる都市計画道路原広根線の交差点とパークタウンとの交差点に信号機の設置が必要ではないか。

地域振興部長　本年度末の供用開始にあわせて、2箇所の交差点に新たに信号機を設置されるように、兵庫県公安委員会に度重なる協議と要望を行い、結果、本年度末までに両交差点に、新たに信号機を設置されることが方針決定されたと、川西警察より聞いている。

町道差組紫合線の上野地内での大型通行禁止を以前、平成25年の6月・12月でも質問をしたが、依然として大型通行規制となっていない。しかし都市計画道路が本年度末には開通する。また、上野5号線も新名神高速道路インターに接続されるため、上野地内での大型通行禁止を上野自治会全体の総意として再度要望が提出された。町の考えは。

地域振興部長　27年度の県公安委員会の回答では、大型車通行実態や交通事故発生状況を調査したうえで、大型車両などの通行規制の可否を決定するとの回答を得ている。



原広根線の上野地内交差点

全国町村議会広報研修会に参加

平成28年10月26日（水）
東京・シェーンバッハ・サボー

赤羽博之氏・豊田健一氏・芳野政明氏による講演・講習を受けました。〝伝わる文章とは〟〝読んでもらえる記事とは〟の講演と、優秀作品の評価内容の説明や講評など、今後の広報紙編集に役立つ講演・講習でした。



豊田健一氏の講演

議会広報特別委員会先進地を視察

平成28年10月27日（木）
埼玉県寄居町

寄居町議会広報委員長より、寄居町の編集作業の流れの説明がありました。本町と違う点は多々ありましたが、事前に委員長・副委員長で打ち合わせをした後、編集会議を持つ。また印刷業者も編集会議に参加し、直しをその場で確認できるという効率の良い編集作業をされているなど、本町も見習いたいと感じる点が多くありました。


埼玉県寄居町議会

議員研究会に参加

平成28年11月15日（火）
兵庫県稲美町

稲美町コスモホールにおいて、平成28年度兵庫県町議会議長会主催の「議員研究会」が開催され、県下12町の町議会議員が参加。東京大学教授の金井利之氏から「真の地方創生実現に向けた地方議会の使命」と題して講演があり、今後の地域創生への取り組みに大いに参考となりました。



金井利之氏の講演

全議員研修会を開催

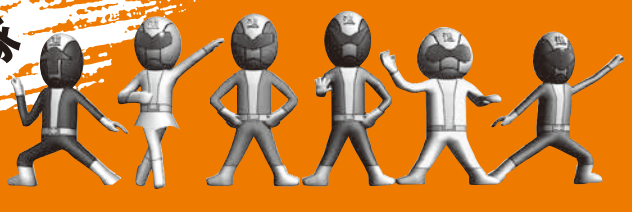
平成28年12月2日（金）
猪名川町役場第2庁舎

兵庫県町議会議長会事務局長の山縣恵子氏を迎え「議会運営について」をテーマに、一般質問・委員長報告・委員会運営（委員会の特性・委員会の権限・所管事務等の調査）など議会運営に関する講義を受けました。


山縣恵子氏の講義

復活!! 追うレンジャー

いながわ追跡調査隊



過去に行われた一般質問のその後を追跡調査隊「追うレンジャー」が調査しました。
第27回のミッションは、次の2つの質問のその後です。

質問 障がい者の就労・生活支援施策は

平成24年３月定例会

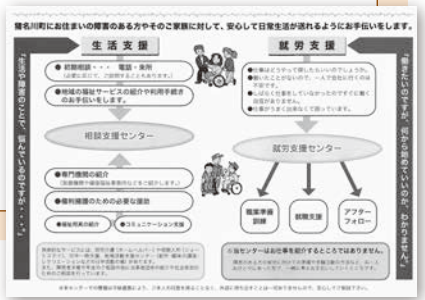
本町が目指す障がい者の就労支援施策は。

答弁 障がい特性を見極め支援していく

雇用環境の厳しい社会情勢だが、本人の障がい特性を見極めその人にあった就労の場をコーディネートして本人の就労を支援する。

現在 就労に関する様々な相談支援を実施している。

ゆうあいセンター内の猪名川町障害者就労支援センターにおいて、障がいのある方の課題やニーズに応じた就労に関する様々な相談支援を実施している。平成27年度は、13名の就職ができた。



質問 耕作放棄地・遊休農地の防止と再生は

平成25年９月定例会

近年、農業経営者の高齢化や後継者不足、経費負担も大きく、耕作放棄地が増えている。「耕作放棄地再生利用対策」など各地で多様な実践がされているが、本町の取り組みは。

答弁 農地の利用集積や仲介・あっせんを進める

平成21・22年度に「緊急雇用就業機会創出事業」を活用し1.6haの遊休農地を解消した。農地の利用集積、新規就農者の受け入れ、そばの作付支援により発生防止に努めている。

現在 遊休農地対策が強化された。

農地法および農業委員会法の改正により、遊休農地に対する調査や指導の実施、農地利用の最適化を推し進める「農地利用最適化推進委員」が新設されるなど、遊休農地対策が強化された。



新春を迎え ごあいさつを 申し上げます

猪名川町議会

議長　久保宗一
副議長　石井洋二
議員　南初男　下坊辰雄　福井澄榮　池上哲男　中島孝雄　西谷八郎治　宮東豊一　丸山純　下神實千代　加藤郁子　山田京子　肥爪勝幸　阪本ひろ子　岡本信司

こどもたちの声

旅立ち

中谷中学校　3年　渡邊（わたなべ）　ひなつ



旅立ちに別れはつきものだ
旅立てば出会いがつきものだ
だから　別れを恐れないで
前を向いて突き進んでいこう
でも　悩んだとき
これまで出会った人を思い浮かべよう
必ずそこに答えが待っている
私には　そんな出会いがあったと言えるように

私の誇る町

猪名川中学校　2年　木村（きむら）　夏希（なつき）



緑の自然に囲まれて
真っ黒な夜に白い星が輝いている
赤・黄・緑の美味そうな色した給食に
毎日、自然と笑顔が溢れてくる
それでも、時々白と黒のビルだらけの街に
住みたくなって
でも、やっぱりここにいると
落ち着いて
それが私の誇るこの町

編集後記

昨年は、リオ五輪で日本は41個のメダルを獲得し、感動の連続でした。しかし、一方では、熊本地震により、多くの方々が犠牲になり、甚大な被害を被りました。

また、年の瀬に発生しました糸魚川大火災でも多くの方々が被災されました。心よりお見舞い申し上げます。

日頃から、防災への自助の取り組みと、助け合いの共助の気持ちが大切であると実感する今日この頃です。

「いながわ議会だより」は、議会と町民のみなさんのパイプ役として、これからも、わかりやすい紙面づくりに心がけて取り組んでまいります。

本年もご愛読をよろしくお願い致します。

議会広報特別委員会
阪本　ひろ子



この広報紙は11,800部作成し、
一部あたりの単価は38.88円です。



発行：兵庫県猪名川町議会
編集：議会広報特別委員会

〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑110-1
TEL:072-766-8710　FAX:072-766-8882
http://www.town.inagawa.lg.jp